

たのはた

2018
No. 610

1

この太刀 厄をはらう

12月3日に開かれた、歳末たすけあい演芸会。
大宮神楽の演目「清祓い」は、場をはらい清める舞。
「この太刀により家と村の厄をはらう」という意味が込められている。
(関連記事は13頁)

主な内容

- 石原村長新年のあいさつ 2頁
- 成年生まれ今年の抱負 4頁
- 中学生海外派遣研修 6頁
- 虫歯ゼロ ピカピカ3歳児 10頁

迎春

平成30年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

村の冬の風物詩といえば、軒先に並んだ干し柿やナメタガレイの風景が浮かびます。正月には豊かな自然の恵みを「煮しめ」にして、家族みんなでいただくのが定番です。中でもナメタガレイが入ったものは格別で、時が経つほど味が染み込み、田野畑井でいう「クルビ味(美味、とても美味しい)」がします。この郷土料理の定番も最近はお口にすることがなくなり、あの懐かしい味が恋しくなる時節でもあります。

さて、東日本大震災の災禍から7年が過ぎようとしています。昨年は、村内18地区(12月20日時点)との「災害時要支援者名簿の利用に関する覚書」の締結や「臨時防災ヘリポート」の整備など、村の防災体制などが大きく強化され

た年となりました。

また、4月には旧島越跡地に「島越ふれあい公園」が完成しました。これは津波で犠牲になられた方々を悼み、教訓を後世に伝えていくための施設で、私自身、災害に強い村づくりへの決意を新たにしたところです。近年は過去に類を見ない自然災害が至る所で起きており、村民の皆さんの安全で安心な暮らしを守るために「1人の犠牲者も出さない」という強い覚悟で、引き続き全力で取り組んでまいりる所存です。

産業の分野に目を向けますと、8月の悪天候などの影響で、ウニの不漁、野菜やマツタケの不作など第1次産業にとっては大変厳しい年となりました。また、全国的に第1次産業の担い手が年々減少し、村内でも深刻な課題となっています。若者が進んで第1次産業に従事できる

よう人材の確保、育成を進めてまいります。

村の基幹産業は第1次産業ですが、地域振興の選択肢を広げるため、本村の呼び掛けで野田村、普代村、九戸村の4村が連携し、「6次産業化による広域連携事業」に取り組んでいます。築地市場の事業者の特産品などを直接売り込みさらには、築地の仲買人に村を直接訪れていたなど、今後の展開に向けて明るい話題もあり、他の分野における連携も視野に入れながら、多様な展開を模索しているところであります。

2年ぶりの開催となった「たのはた村産業まつり」には、村内外から会場を埋め尽くすほどの人が訪れ、例年以上のにぎわいを見せました。買い物や公演を楽しむお客さんをはじめ、出店者、出演者の皆さんのたくさんの笑顔が、この先の地域づくりの活力につながるものと思っています。

近年、少子高齢化や核家族化、生活様式の多様化に伴う住民同士のつながりの希薄化が進み、子育てや家族の介護など、支援を必要とする人が増え続けています。こうした課題に取り組むため昨年3月に「田野畑地域福祉計画」を策定しました。住民一人ひとりが積極的に地域福祉に関わり、地域住民、関係団体や事業者、行政が協働しながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めてまいります。

平成30年は、第1次産業の担い手不足や少子高齢化、人口減少など、村のさまざまな課題の解決に向けて「産業」「福祉」「教育」「地域創生」「定住化の促進」の5項目を柱に施策を展開してまいります。

また「田野畑村総合計画・後期基本計画」「ま

ち・ひと・しごと創生総合戦略」「人口ビジョン」などの諸計画を着実に実行していくとともに、復興の先を見据えた将来像を描くため『暮らしやすい村のグランドデザイン』をまとめてまいります。

これは村版の「都市計画」ともいえるもので、役場庁舎建設をはじめとした公共施設などの最適な配置や整備のあり方などを村民の皆さんと一緒に考えていくものです。広くご意見をいただきながら、住みやすい村、住み続けたい村、そして訪れたい村の実現に向けて取り組んでまいります。

先に掲げた公約につきましては、早速実現に向けて動き出したものがあります。通院などのための村外行き(岩泉駅、普代駅)のバス路線は、この1月から無料化します。また、子育て支援の一環として「田野畑村入学及び卒業祝い支給条例」を制定し、本年度から支給することも決まりました。その他、地域産業の構造改革に向けた取り組みも着実に進めているところでもあります。今後も村民目線で、地域課題の一つひとつに丁寧に向き合ってまいります。

村づくりの主役は「人」であります。そして、人づくりの基本は「教育」です。『教育立村』を村是としながら、これまで以上に先見性と展開性、柔軟性を持って、将来に希望の持てる村になるよう努めてまいります。村民の皆さんにおかれましては、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この1年が村民の皆さんにとって多き年になりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



石原弘 村長

成年生まれ 今年の抱負

2018年(平成30年)は成年。村内の成年生まれは274人(12月18日現在)。年男女の皆さんに今年の抱負を伺いました。

家族全員健康な年に

打野 富美香さん

(羅賀・47歳)

昨年は、長女が大学進学を希望し、心配と苦勞の絶えない1年でした。今年は、1人暮らしを始める長女を含め、家族全員が健康で過ごせれば嬉しいです。

昭和
45年
生まれ



今年も仕事を頑張る

打野 武彦さん

(羅賀・47歳)

今の仕事を始めて、今年の10月で5年になります。昨年は知り合いも増え、多くの人に声を掛けていただきました。夜中まで働くことも多く、大変ですが、これからも頑張っていきます。

今まで通り健康で

佐藤 善正さん

(甲地・95歳)

山の手入れに毎日行っています。そのおかげか、昨年は大きなけがや病気もなく、健康に過ごせたい年でした。今年は96歳。今まで通り健康に過ごせれば嬉しいです。

大正
11年
生まれ



バスケット部を強いチームに

工藤 陸大くん

(西和野・11歳)

中学校ではバスケット部に入って、宮古地区で強いチームになれるように練習を頑張りたいです。身長が伸びるといいなあ…。勉強では、数学を頑張ります。

勉強と部活の両立を

小野 陽菜乃さん

(羅賀・11歳)

中学校では、勉強と部活の両立ができるように頑張ります。部活はバレエ部、勉強は漢字が苦手なので、漢字練習を頑張ります。

平成
18年
生まれ



ソフトテニスで県大会へ

武田 柚姫さん

(北山・11歳)

中学校では、ソフトテニス部に入ることが楽しみです。練習を頑張って県大会に出場するのが目標です。勉強も難しくなると思うので、自主学習を頑張ります。

神楽で観客を喜ばせたい

関口 誠くん

(田野畑・11歳)

今年は、神楽とスポ少バスケを頑張りたいです。神楽では、いろいろな演目を覚えて、見に来てくれる皆さんに喜んでもらえる神楽を舞いたいです。応援してくれる家族にも恩返ししたいです。

孫の活躍する姿が楽しみ

関口 嘉一さん

(田野畑・83歳)

昨年は、お店を始めてから50年。皆さんに支えられて続けることができました。今年は、孫がバスケや陸上、神楽で活躍する姿が楽しみです。家族全員が健康に過ごせる年に。

平成
18年
生まれ



昭和
9年
生まれ



一生の宝物となる1年に

野中 光男校長

(菅窪・59歳)

昨年は、子どもたちが重点的に頑張ろうとしていることが、達成できた一年でした。今年は、子供たちや村のよさにいっぱいふれ、一生の宝物となるよう深く心に刻む1年に。今年こそ、サブ船アドベンチャーズに乗るぞ！

昭和
33年
生まれ



スポ少でスタメン出場

本波 史也くん

(鳥越・11歳)

昨年は、スポ少野球でスタメン出場することができませんでした。今年は、スタメンで出場できるように練習を頑張ります。勉強では、漢字練習を頑張ります。

平成
18年
生まれ



下級生の手本になる

佐々木 優斗くん

(甲地・11歳)

昨年は、運動会と剣道を頑張りました。4月からは6年生。全校のリーダーとして、下級生の手本となるように、委員会や児童会の活動を頑張ります。



目標は県大会で金賞受賞

和山 花月さん

(切牛・11歳)

スクールバンドでホルンを担当しています。4月からは、パートリーダーとして、下級生を引っ張っていきたくです。県大会で金賞を目指して頑張ります。



Ariya Miharuru 有谷 美晴

一生忘れられない貴重な体験

今回の研修で驚いたことは、アメリカの人は、初対面でも恥ずかしがらずにあいさつしたり、とてもフレンドリーだったことです。

ホストファミリーにも暖かく迎えていただきました。一緒に絵を描いたり、ショッピングモールや教会にも連れて行ってもらいました。教会では、ドーナツなどの朝食を食べたり、大きな会場で歌を聴いたりしました。

今回の研修では、事前に日常会話な

どの英語を調べておけばよかったと思いました。次にアメリカに行くチャンスがあれば、もっとコミュニケーションをとれるようにして、クリスマスなどのイベントを体験したいです。

中学生で、アメリカの暮らしや文化を体験できたことは、私にとって一生忘れられない、とても貴重な体験となりました。参加するに当たって支えてくれた、家族や先生、地域の皆さんに感謝したいです。



Sasaki Miyu 佐々木 美優

将来は英語を使う職業に就きたい

12日間の海外派遣研修に参加して、たくさんの事を学んできました。

研修で印象に残ったことは、ホストチューデントが、自分で車を運転して登校していたことです。日本では、高校生が車で登校することはあまりないのでとても驚きました。私も通学の時に乗せてもらいましたが、座席の位置が日本とは逆なので、新鮮でした。

アメリカの生活で大変だったことは、言葉を伝えることです。

私が、うまく伝えられずに困っていると、ホストファミリーはスマートフォンのアプリを使って、助けてくれました。英語を話せなくても伝えようとする気持ちが大切だと感じました。

私は将来、英語を使う職業に就きたいと思います。これからの進路を決める大切な時期に、このような研修に参加できてとてもよかったです。今回の研修は、将来を決める大きな経験となりました。



忘れられない貴重な体験

田野畑村中学生海外派遣研修 ~ Tanohata-Indiana Exchange ~

アメリカの生活を体験しながら、文化、語学などを学ぶ「中学生海外派遣研修」(アーラム大学、村青少年育成村民会議、村教育委員会主催)。
3回目の今年は、10月29日から11月9日までの12日間、インディアナ州コナーズビル市などで行われ、3人が派遣されました。
コナーズビル市などを訪れたのは、田野畑中(小森田孝道校長、生徒73人)3年の有谷美晴さん、佐々木美優さん、中村海希さんの3人。同校の菊池聡子教諭と村教育委員会の小野茜国際交流推進員が引率しました。
生徒たちはコナーズビル市で8日間、ホストファミリー宅に宿泊しながらアメリカの日常生活を体験しました。
アメリカ滞在2日目の10月31日はハロウィーン。アニメのキャラクターなど、色とりどりの衣装に身を包んだ生徒たちは、コナーズビル高校の生徒と一緒に近所の家庭を回って、お菓子

をもらい、笑顔を見せていました。
滞在期間中は、コナーズビル高校で、折り紙や箸の使い方などの日本文化、日本語を伝えながら同世代の生徒たちと交流を深めました。そのほかコナーズビル中学校やエバートン小学校への訪問、観光施設の見学など、多彩なメニューを通じてアメリカへの理解を深めました。
12日間の渡米で、生活や文化、生きた英語を肌で感じた3人は、11月9日に無事帰国しました。
引率した菊池教諭は「研修に行く前は、間違え事を怖がり、英語で話すのを恥ずかしがっていました。研修では、思いは言葉にしなると伝わらないということを学び、積極的に英語で伝えようとしていました」と目を細めていました。
帰国した3人は12月15日、全校生徒に研修の成果を報告。英語を交えながら堂々と伝える姿は、とてもたくましく、自信に満ちあふれていました。



Nakamura Miki 中村 海希

地域の皆さんの支援で貴重な体験ができた

今回の研修では、たくさんの思い出ができました。

コナーズビル高校では、生徒が授業中に、飲食をしていることに驚きました。大きなジュースが机の上に置いてあったり、お菓子を食べながら授業を受けていました。日本の学校では、考えられない授業風景がとても印象に残っています。

楽しかったことは、ホストファミリーとの交流です。一緒にハロウィー

ンのカボチャに顔を掘ったり、バスケットボールの試合を見に行きました。専用の会場は、とても広く、飲食のお店もありました。選手の家族以外にも、たくさんの地域の人が詰めかけていて、とても楽しかったです。

私たちが安全に海外研修に行けたのは、家族や地域の皆さんに支援していただいたおかげだと思います。貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

- 1_コナーズビル高校の生徒や盛岡市の派遣研修生たちとハロウィーンの衣装で記念撮影
- 2_ホストチューデントと一緒に昼食をとる佐々木美優さん
- 3_コナーズビル高校で日本語クラスの授業に参加。インタビューに答える中村海希さん
- 4_エバートン小学校でハロウィーンのカボチャを作る有谷美晴さん





遠藤 マキ子委員
会長職務代理者
(65) = 田野畑 =



佐々木 仁志会長
(63) = 北山 =



山崎 静男委員
(74) = 菅窪 =



山崎 幸一委員
(69) = 真木沢 =



菊地 英光委員
(59) = 明戸 =



畑山 正明委員
(61) = 羅賀 =



熊谷 源一委員
(65) = 田代 =

平成28年4月1日から改正農業委員会法が施行され、本村でも改正法に基づいた新しい農業委員が選任されました。11月27日には、第1回農業委員会総会が開かれ、会長に佐々木仁志委員、会長職務代理者には、遠藤マキ子委員が選出されました。任期は平成32年11月26日までの3年です。

農業委員の業務は主に、▼農地の権利の許可などに関する審議、▼農地などの利用の最適化の推進（担い手への集積・集約化、遊休農地対策など）に関する施策についての指針作成、▼農地パトロールや農地など利用の最適化に関する現場活動の3つです。



みんなまで考えるまちづくり 暮らしやすい村のグラウンドデザイン

村は、少子高齢化や人口減少、公共施設の老朽化など、さまざまな課題を抱えています。

国立社会保障・人口問題研究所「本地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」に基づいて作成し、平成28年3月に村の皆さんに配布した、「田野畑村人口ビジョン&まち・ひと・しごと創生総合戦略（概要版）」によると本村の人口は、2040年には約2000人まで減少することが予想されています。

人口減少・高齢化社会に対応するため、村の総合計画・後期基本計画では、2040年に人口3000人を維持することを目標としています。

このような課題の解決に向けて、行政と村民が課題を共有し、公共施設の位置付けと役割を整理して、高齢者や子育て世代など、すべての村民が健康で「暮らしやすい村のグラウンドデザイン」を計画します。

グラウンドデザイン計画では、村

内6自治協議会の「地域づくり計画」や地区にある産業を推進するため、各地区間のつながりを構築しながら▼行政拠点▼教育拠点▼農林水産業拠点など、将来村の核となる主要施設を整備するエリアなどを検討していきます。

これは将来に向けた「村の設計図」のようなものです。私たちの生活に身近な施設や道路・上下水道、公園の整備をはじめ、土地利用方法や開発の進め方など、安全で快適な環境をつくり、子どもから高齢者まで全ての人が生きがいを持って村を守るためには、どのようにすればいいのかを描くものです。

村民の皆さんと一緒に、役場新庁舎の建設など、公共施設の利用しやすい配置や整備のあり方などを考えていきます。

誰もが住みやすい村、住み続けたい村、そして村外から訪れたい魅力ある村の実現に向けて、村民の皆さんからの意見を取り入れながら計画を進めていきます。



虫歯ゼロピカピカ3歳児

村は12月13日、本年度の「歯の健康優良児」を表彰しました。表彰を受けたのは3歳児健診で虫歯の無かった18人。近藤貴樹歯科診療所長が表彰状と記念メダルを贈りました。子どもたちは受賞を喜びながら「これからも歯磨きを頑張ります」と誓っていました。
※写真は掲載希望者のみ掲載しています。



三浦 光昂ひだかくん
(島越)



牧原 生明せいめいくん
(大芦)



熊谷 琴乃ことのちゃん
(尾肝要)



佐々木 梨帆りほちゃん
(尾肝要)



小野 いちかいちかちゃん
(菅窪)



佐々木 望空みそらちゃん
(切牛)



小長根 愛鈴あいりちゃん
(机)



佐々木 芹花せりみちゃん
(甲地)



吉塚 康希こうきくん
(甲地)



松頭 泰生たいせいくん
(北山)



山根 志稀しきくん
(羅賀)



山根 海音みおんちゃん
(羅賀)



三浦 紗椰さやちゃん
(田野畑)



三浦 このめこのめちゃん
(島越)



山崎 隼矢しゅんやくん
(田野畑)



大村 心陽しんやうちゃん
(明戸)

岩手県「食の匠」に熊谷裕美子さんを認定

岩手県が、地域の食文化や郷土料理などの知識や技術を受け継ぎ、次の世代へ伝承できる人を認定する「食の匠」制度。

本年度の認定証交付式が12月15日、盛岡市で開かれ、熊谷裕美子さん(59)＝羅賀＝が食の匠に認定されました。認定料理は「ワカメの茎の佃煮」。熊谷さんは平成11年頃から、村漁協田野畑女性部でワカメの加工に携わり、技術と知識を習得しました。その後、イベントや料理教室などでの魚食普及活動やワカメの茎を使った加工品の製造と販売、販路拡大に取り組んでいます。熊谷さんは「漁協女性部を代表して頂いたものだと思います。これからも女性部の皆さんと協力して、魚食の普及活動を行っていききたいです」と力を込めました。



熊谷 裕美子さん



認定料理「ワカメの茎の佃煮」

宮古地方「食の匠の技」公開講座

- ◆日時：2月19日(月) 午前10時30分～午後1時30分
- ◆場所：宮古地区合同庁舎2階 (宮古市五月町1-20)
- ◆講師・料理 ①中村利久さん(岩泉町)・黒豆のお汁粉 ②熊谷裕美子さん(田野畑村)・ワカメの茎の佃煮
- ◆参加費：500円(材料代)
- ◆持ち物：エプロン、三角巾
- ◆定員：20人
- ◆申し込み方法：電話またはFAXで住所・氏名・連絡先を伝えてください
- ◆受付期間：2月5日(月)～7日(水)
- ◆その他：受講者の決定は抽選で行います。抽選は、2月8日(木)に行い、受講決定者には、2月9日(金)発送の文書で連絡します
- ◆申し込み・問い合わせ先：宮古農業改良普及センター(☎019316412220、FAX 019316415631)

本村の教育振興に尽力 裴岩敏雄教育長が退任



裴岩敏雄教育長

裴岩敏雄教育長は12月31日、任期満了により退任しました。

裴岩教育長は、平成26年1月6日に教育長に就任。平成27年度には、8年ぶりとなる中学生海外派遣研修の復活や国際交流キャンプの開催。さらに、小中連携教育の推進など4年間に渡り、本村の社会教育、学校教育の振興に尽力されました。退任にあたり裴岩教育長は「村の皆さまに温かく迎えていただき、4年間大変お世話になりました。尾肝要道路開通や三陸鉄道全線運行再開の明るい出来事から始まり、仮設住宅の撤去や復旧したマレットゴルフ場の全国大会・国体の開催など、大震災からの復興を実感することができました。田野畑村は、地域の皆さんで子どもたちを育てる素晴らしい環境があり、それに子どもたちが十分に応えて活躍している姿に、たくさんの方の感動をいただきました。これからも田野畑の子どもたちを、田野畑村を応援していきます。本当にありがとうございました」と感謝の言葉を話しました。

歳末恒例の演芸会熱演に拍手



田野畑自治会の創作劇「はなさかじいさあ」。方言を使った劇で会場を沸かせた

第48回村歳末たすけあい演芸会（村社会福祉協議会主催）が12月3日、アズビィホールで開催されました。村内や岩泉町などから集まった個人や団体のボランティア出演者16組が舞踊や歌声などを披露。約210人の観客は、出演者の熱演に大きな拍手を送っていました。出演者の最高齢は三上巖富さん(91)＝和野＝。「手平がね」などのおはやしで大宮神楽を支えました。最後は、田野畑ライオンズクラブによる餅まき。来場者は笑顔で手を伸ばしていました。

明戸地区で元気がでる講演会

明戸元気がでる講演会と食の文化祭（明戸の元気応援団主催）が12月17日、地区公民館で開かれました。講演会では、内閣府地域活性化伝道師の志村尚一しやういちさんが、歌手による民謡などを交えながら、地域おこしについて講演。民謡歌手の佐野より子さんなどの歌声に、約50人の地区住民は、笑顔で声援を送っていました。志村さんは「地域が元気になるためには、みんなの心がつながっていると感じるのが大切」とエールを送りました。



佐野より子さんなどの歌声に拍手を送る明戸地区の皆さん

牛乳配り安全運転を呼び掛け

村、交通安全協会田野畑支会、村老人クラブ連合会、岩泉警察署など約30人が12月4日、道の駅たのはたで交通安全キャンペーンを実施しました。冬の交通事故防止県民運動に合わせて行ったもので、国道45号を宮古方面に向かう車のドライバーに、たのはた牛乳や啓発用品などを配布し、交通事故の防止を呼び掛けました。たのはた児童館の熊谷夏希ちゃん(6つ)は「安全運転をお願いします」と大きな声で呼び掛けていました。



啓発用品などを配布し安全運転を呼びかける熊谷夏希ちゃん

奥地キミ子さん知事表彰受賞

公衆衛生功労者等表彰式が12月1日、盛岡市で行われ、奥地キミ子さん(68)＝菅窪＝が岩手県知事表彰を受賞しました。奥地さんは、昭和59年に村食生活改善推進員団体連絡協議会に入会。村での食育活動など、食生活の改善に尽力されました。また、平成18年からは同協議会の会長を務められています。奥地さんは「食改の活動が認められ、頂けた賞だと思います。これからも食育や高齢者へのお弁当作りなどの活動を頑張っていきたいです」と話しました。



表彰状を手に笑顔を見せる奥地キミ子さん

女性消防協力隊に活動服交付



交付された活動服に身を包む中村悦子隊長◎

村は12月13日、村女性消防協力隊（中村悦子隊長）に活動服の交付を行いました。村役場で行われた交付式には、中村隊長、畠山和子副隊長、早野てい子副隊長、工藤廣子副隊長の4人が参加。石原弘村長から活動服の交付を受けました。交付したのは、反射材がついた雨具とつま先に鉄板の入った長靴。中村隊長は「大変ありがたく思います。これからも、協力隊としての活動を頑張っていきたいです」と決意を新たにしていました。

伊藤勝康シェフ料理マスタースルバー賞を受賞



ロレオール田野畑の伊藤勝康シェフ

第8回農林水産省料理人顕彰制度「料理マスタースルバー」の受賞者が10月27日に発表され、ロレオール田野畑の伊藤勝康シェフがシルバースルバー賞を受賞しました。伊藤シェフは、東日本大震災、台風水害の被災者のために炊き出しを実施。その後も被災地を中心とした料理教室の開催、地元の食品企業との

商品開発や地元の小学校での食育授業の実施など、復興支援への尽力が評価されての受賞となりました。農林水産省料理人顕彰制度「料理マスタースルバー」は、日本の「食」や「食材」、「食文化」の素晴らしさやその魅力に、誇りとこだわりを持ち続け、生産者や食品企業などと「協働」したさまざまな取り組みに尽力した料理人などを顕彰する取り組み。今回、シルバースルバー賞は全国から5人の方々が受賞されました。

皆さんの子育てを支援します 入学・卒業祝い金を支給

教育委員会は、子どもの成長を祝い、保護者の経済的負担の軽減を図るなどの目的で、田野畑小・中学校への入学、田野畑中学校卒業を迎える児童生徒の保護者に、祝い金を支給します。

「祝い金」の支給を受けるためには、申請書の提出が必要となります。対象と思われる人には、2月下旬から申請用紙を送付する予定です。



- ◆祝い金の種類
 - 小学校入学祝い金：2万円
 - 中学校入学祝い金：2万5千円
 - 中学校卒業祝い金：3万円
- ◆支給日：3月中を予定
- ◆問い合わせ先：教育委員会（☎34-2226）

岩泉町と普代村へ行くバスが無料になります タノくんバス全路線無料運行

村は、総合バス「タノくんバス」を1月4日(休)から全路線で無料運行にします。



タノくんバスを利用する小学生

これまでは、岩泉町、普代村へ行く路線は、総合バスの主目的であるスクールバスではないことなどの理由から有料としていました。

- ◆しかし、利用者の多くが高齢者で、医療機関への通院を主な目的としていることから、高齢者の通院支援として無料運行にします。
- ◆問い合わせ先：政策推進課（☎34-2111 内線61）

デザインの使用と着ぐるみ貸し出し タノくんを活用してみませんか

◆タノくんの活用に関する問い合わせ先：政策推進課（☎34-2111 内線68）

キャラクターデザインの使用

タノくんのキャラクターデザインを基に、オリジナルのタノくんを作つて、商品にしたり、商品のパッケージなどに使用することができます。

商品などに使用する際には、事前に村への申請が必要です。詳しくは、村HPを確認するか問い合わせてください。

なお、チラシや掲示・私的利用など、営利目的でない場合の申請は不要です。



着ぐるみの貸し出し

タノくんの着ぐるみを無料で貸し出します。着ぐるみを使用するには、事前に申請書の提出が必要です。

村内外の各種イベントなどで村のPRにご利用ください。

- ◆申請方法：「使用申請書」に必要事項を記入のうえ、提出してください
- ◆貸出期間：7日間以内
- ◆その他：貸し出しから返却までの運搬は、申請者が行つてください。なお、発送も可能です。
- ◆発送に掛かる費用は、申請者の負担となります

自慢の料理を出品してください 第4回料理コンテストを開催



昨年の料理コンテストの様子

村6次産業化推進協議会では、村の食文化や食材の魅力を再発見し、広く村外へ発信するため、第4回料理コンテストを開催します。

自慢の料理の腕を競うコンテストの他に、新企画として「お土産品企画コンテスト」を実施。田野畑のお土産づくりに生かせる「こんなお土産があったらいいなあ」というアイデアを募集します。

◆日時：2月25日(日)
午前11時～午後2時

- ◆場所：ホテル羅賀荘
- ◆審査部門：次の①～③の部門ごとに優秀作品を選考し、表彰および賞品を授与します。
- ①自由部門：食材の指定なし。腕自慢・創作自慢の料理
- ②食材指定部門：主催者が指定した食材を使った料理
- ※料理のジャンルや品目数は問いません。1品ごと(単品)で申し込んでください
- ③お土産品企画コンテスト：企画書(絵も可)を提出してください。実際の調理はありません
- ◆出場方法：2人以上のチームで申し込んでください。お土産企画コンテストは、個人での参加も可能です
- ◆食材費補助：出場者には、食材費の一部を補助します
- ◆申込期限：2月9日(金)
- ◆その他：出場の申し込みや観覧、試食の参加方法は、1月15日号でお知らせします
- ◆申し込み・問い合わせ先：6次産業化推進室（☎34-2111 内線71）

皆さんで教育について考えてみませんか 教育のつどいを開催

教育委員会は、「心豊かで賢くたくましい田野畑の子どもの育成」をテーマとして、教育のつどいを開催します。

学校・家庭・地域社会・行政が連携して、次代を担う子どもたちを育成するために、村民一人ひとりが教育の重要性を認識し、教育のあり方を考える機会です。

◆日時：1月21日(日)
午前8時45分～正午

- ◆場所：アズビイホール
- ◆内容：アトラクション(大宮神楽)、教育振興運動表彰、教育振興運動についての説明など
- ◆講演
 - 講師：遠野市立遠野小学校 坂下明洋校長
 - 内容：メディアとの関わり方についての講演を予定
- ◆問い合わせ先：教育委員会（☎34-2226）

村や地域の課題を一緒に考えてみませんか 村民と議会の意見交換会を開催

田野畑村議会では、村民の皆さんとの意見交換会を開催します。今回は議員が3グループに分かれて、3会場で開催します。皆さんが日ごろ感じていることなどを、自由に語り合ひましょう。

◆日時：1月24日(水)
午後6時～7時

- ◆場所(参加議員)
 - ①北山地区総合センター(上村 繁幸議員、菊地大議員、工藤 求議長)
 - ②田野畑駅2階(中村芳正議員、 島山拓雄議員、中村勝明議員)
 - ③甲地公民館(上山明美議員、 大森一議員、鈴木隆昭議員、 佐々木芳利副議長)
- ◆内容：①議会報告②意見交換テーマ「村や地域の課題を一緒に考えよう」
- ◆問い合わせ先：村議会事務局（☎34-2111 内線90）

お知らせ

民生委員・児童委員が変わりました

12月4日から、2地区の民生委員・児童委員が変更になりました。困りごとがあるときは、気軽に相談してください。

◆和野地区…工藤廣子さん ◆真木沢地区…熊谷正一さん
◆問い合わせ先…保健福祉課 (☎ 33-3102)

知 償却資産の申告を忘れずに

償却資産（確定申告時に減価償却費として経費控除申告をする予定の資産）がある人は、村の台帳に登録が必要ですので、申告手続きを行ってください。

また、発電出力10^{kW}以上の太陽光発電設備も償却資産の対象となる場合がありますので、下表を参考に申告してください。

区分	10 ^{kW} 以上	10 ^{kW} 未満
個人(住宅用)	申告対象	申告対象外
個人(事業用)	申告対象	
法人	申告対象	

- ◆申告期限…1月31日(水)
- ◆その他…申告用紙は、税務会計課で配布します
- ◆問い合わせ先…税務会計課 (☎ 34-2112 内線 34)

知 遺言や契約を公正証書が守ります

宮古公証役場では、遺言や離婚などの公正証書の作成や会社の定款認証についての相談に応じています。

◆日時…平日の午前9時～午後5時
◆場所…宮古公証役場（陸中ビル2階）
◆相談料…無料
◆相談方法…電話での相談も可
◆問い合わせ先…宮古公証役場 (☎ 0193-63-4431)

知 海上保安庁緊急ダイヤル118番

海上保安庁では、海上で事件や事故があった際の緊急ダイヤルとして「118番」を運用しています。

次の場合には、「118番」へ通報してください。

- ①海難人身事故に遭遇した、または目撃した
- ②密漁、不法投棄などの情報を得た
- ③見慣れない船や不審な船を発見した
- ④油の排出などを発見した

通報の際には、「いつ」「どこで」「何があったか」などを落着いて通報してください。

◆問い合わせ先…宮古海上保安署 (☎ 0193-62-6560)

知 ミツバチ飼育の届け出忘れずに

平成25年1月1日に、改正養蜂振興法が施行され、蜜蜂飼養届の提出義務が、趣味で飼養する人にも拡大されました。

対象となる人は、平成30年1月1日現在の飼育群数と年間の飼育計画を提出してください。

届け出の様式は、岩手県のHPからダウンロードするか、問い合わせてください。

◆提出期限…1月31日(水)
◆問い合わせ先…沿岸広域振興局農林部 (☎ 0193-25-2714)

参加者などを募集中

知 いろいろなお知らせ

知 高齢者なんでも相談「シルバー110番」

岩手県高齢者総合支援センターでは、高齢者なんでも相談「シルバー110番」を設置し、高齢者やその家族の皆さんからの相談に応じています。

毎日の生活で困っていることや悩んでいることなど相談してください。

◆相談電話…☎ 0120-84-8584
◆相談時間…午前9時～午後5時（月～金曜日）
◆その他…相談無料。秘密厳守

知 各種検査が無料で受けられます

宮古保健所では、エイズ・肝炎・性器クラミジア・梅毒の各種検査を無料で実施しています。

◆日時…1月9日(火)
◆時間…午後4時～6時30分
◆場所…宮古保健所
◆その他…前日までに要予約
◆予約・問い合わせ先…宮古保健所保健課(☎0193-64-2218)

知 退職金請求はお済みですか

過去に林業の仕事に従事していたことがあり、林業退職金制度(林退共)の退職金請求手続きをした心当たりのない人は、退職金を受け取っていない可能性があります。

当時の加入状況についても確認します。可能性がある人は、問い合わせてください。

◆対象者…林業に従事していた当時、林退共に加入していた、もしくは加入していた可能性のある人
◆問い合わせ先…岩手県森林組合連合会 (☎ 019-654-4411)



昨年の出初め式。分列行進の様子

知 村消防団出初め式を行います

出初め式は、消防の仕事始めの行事で、新春恒例行事の一つです。平成30年は、臨時防災ヘリポート(中央防災センター前)を主会場とし、菅窪地区国道45号で分列行進を行います。地域防災の要である消防団へのご声援をお願いします。

◆日時…1月7日(日)
午前10時～11時35分
※分列行進は、10時50分から
◆場所…臨時防災ヘリポート(主会場)、菅窪地区国道45号(分列行進)
◆問い合わせ先…宮古消防署田野畑分署 (☎ 34-2100)

専 海女衣装「カスリ」作成講座

◆日時…1月24日(水)、25日(木)
午前10時～正午
◆場所…久慈商工会議所 3階第一研修室
◆内容…子供用海女衣装「カスリ」づくり
◆対象…①2日間参加できる人
②ミシンで直線縫いができる人(ミシンは事務局で用意)
③田野畑村、洋野町、久慈市、野田村、普代村在住の人
◆定員…10人
◆参加費…1,000円(2日間)
◆申込期間…1月4日(水)～17日(水)
◆その他…作成衣装は原則として1人1着。小学校低学年サイズまで
◆申し込み・問い合わせ先…北三陸「あまちゃん」観光推進協議会受入態勢整備部会事務局(久慈商工会議所内 ☎ 0194-52-1000)

人口と世帯

12月1日現在()は前月比
人口 3,543人(-3)
男 1,764人(-2)
女 1,779人(-1)
世帯 1,454世帯(+4)

火災

(11月21日～12月20日)
火災の【今月】0件
発生件数【今年】0件
無火災の連続記録
(12月20日現在) 490日

知 宮古下閉伊地区高校芸術展

◆開催期間…1月17日(水)～21日(日)
午前9時～午後5時
(最終日は、午後4時まで)
◆場所…宮古市民文化会館
◆参加高校…山田、宮古、宮古北、宮古商業、岩泉など
◆展示…美術工芸、書道、写真、華道、放送文芸など
◆問い合わせ先…岩手県高等学校文化連盟宮古支部(宮古商業高校内 ☎ 0193-62-6856)

知 宮古地区法律相談を開催

◆開催日…1月11日(木)、18日(木)、20日(土)、25日(木)
◆時間…午前10時～午後3時
(土曜日は、午後4時まで)
◆場所…宮古市役所本庁舎1階
◆問い合わせ先…岩手弁護士会 (☎ 019-623-5005)

知 わかりやすい相続登記講座

◆日時…1月25日(木)
◆場所…宮古合同庁舎4階(小山西1-1-1)
◆内容…不動産登記に記載されている所有者が亡くなったときに、所有者を相続人に変更する手続きについて説明
◆定員…先着20人
◆受講料…無料
◆予約・問い合わせ先…盛岡地方方法務局宮古支局 (☎ 0193-62-2337)

知 骨髄バンク登録に協力ください

◆日時…1月9日(火)
◆時間…午後1時～2時
◆場所…宮古保健所
◆その他…前日までに要予約
◆予約・問い合わせ先…宮古保健所保健課(☎0193-64-2218)

鳥インフルエンザの発生を予防しましょう！

家庭で飼っている鳥などの家きんは、渡り鳥から高病原性鳥インフルエンザに感染する可能性があります。感染が確認された場合、殺処分されるばかりでなく、周辺の養鶏農場などに移動制限措置が講じられ、養鶏業界に大きな被害を与えます。

県内での発生を防ぐため、次の衛生対策に協力ください。

- ①野鳥・野生動物の侵入を防ぐため、飼育施設の破損部位を修繕し、防鳥ネットで覆う。餌箱は、常に飼育施設内に置き、散乱した餌の清掃を行う
 - ②家きんに触れる際には、手や指をよく洗浄する。飼育施設に入る際には、外出時に着用した衣服や靴を着替える
 - ③飼育施設の周囲は消石灰を散布(1㎡あたり1^{kg})するなど、消毒を行う
 - ④飲み水には水道水を使用し、野鳥が飛来する池や川の水を用いない
 - ⑤毎日健康状態を観察し、異常がみられた場合には、最寄りの獣医師または家畜保健衛生所まで連絡する
- ◆問い合わせ先…中央家畜保健衛生所 (☎019-688-4111)

たのはた暮らし

No.13



佐々木 勢津子さん

田野畑村に住んで半年が過ぎました。住み始めた時は、新緑が芽吹く頃でした。道の両脇の木々の緑が、日増しに濃くなっていくのを見られるのは、なんてぜいたくなんだらうと感じました。

初めてやませに出会った時は、車で久慈に向かう途中でした。遠くから見ると、行く先の山あいには雲のようなものが潜んでいて、進んで行くといつしか前の車も見失うような深い霧に包まれて驚きました。こんな珍しい体験はなかなかできないと、写真を撮って友人



佐々木勢津子さんが描いた自宅から見た星空

達に送ると「幻想的でヨーロッパみたい」とか「体験したい」と絶賛されました。後になって、こちらでは珍しいことでなく、夏の間は幾度となく出会うと知りましたが、出会う度にワクワクします。

それから、天の川が肉眼で見られるのにも驚きました。プラネタリウムのようです。12月13日はふたご座の流星群がみられると聞き、深夜に厚着をして外に出た。たんに流れ星を発見！10分もしない間に7、8個流れ星が見られるなんて感動的でした。寒くなければ、一晩中も眺めていたい素晴らしいものでした。

私は幼い頃から絵を描くのが好きで、いろいろな場所で風景画を描いてきました。村を初めて訪れた時、何気ない風景がとても絵になる場所だと感じました。ここに来た理由の一つは、田野畑の風景を描きたかったから。四季折々表情を変えてゆく風景を描きとめていきたいと思っています。

みんなのひろば



しおん 佐々木 柁音くん =甲地=

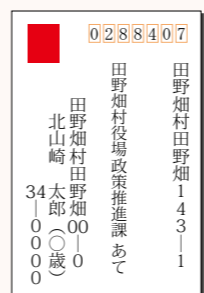
広報の感想や日ごろの出来事、かわいいイラストなどをはがきを書いて送ってください。スペースが許す限り、ここで紹介したいと思います。

◆投稿するときの注意◆

- ① はがきの表には：住所・氏名、年齢、電話番号を書いてください。ペンネームや匿名での掲載も受け付けます
- ② はがきの裏には：イラストや感想などを書いてください
- ③ 営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体を中傷するものは掲載できません

- ④ 感想など、長い文章の場合、一部添削させていただく場合があります

◆あて先・問い合わせ先：〒028-8407 田野畑村役場 政策推進課（☎34-2111 内線63）



はがき(表)の記入例です

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

(12月20日現在)

寄付金総額	5428万1788円 839件 (村内130件、県内192件、県外517件)
取り崩し額	1294万5210円
基金残額 (運用益を含む)	4140万2299円

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課（☎34-2111 内線15）までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：1月1日(月)～1月31日(水)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
1月7日(日)	田野畑村消防団出初め式	臨時防災ヘリポート	10:00～11:35	消防田野畑分署 (☎34-2100)
9日(火)	健康相談・健康教育	保健センター	10:00～11:00	保健福祉課(内線52)
	アズビ健康スポーツ教室「ソフトテニス教室」	アズビ体育館(16日、23日、30日も開催)	18:00～19:00	教育委員会(内線11)
10日(水)	アズビ健康スポーツ教室「バドミントン教室」	アズビ体育館(17日、24日、31日も開催)	19:30～21:00	教育委員会(内線11)
11日(木)	リラックスかふえ	保健センター	10:00～11:40	保健福祉課(内線52)
	美姿勢ピラティス	アズビホール(25日も開催)	18:30～19:30	教育委員会(内線11)
12日(金)	アズビ健康スポーツ教室「フットサル教室」	アズビ体育館(19日、26日も開催)	19:00～21:00	教育委員会(内線11)
15日(月)	アズビ健康スポーツ教室「卓球・ソフトバレー教室」	アズビ体育館(22日、29日も開催)	20:00～21:00	教育委員会(内線11)
17日(水)	乳児健診	健診センター	12:20～15:30	保健福祉課(内線53)
21日(日)	田野畑村教育のつどい	アズビホール	8:45～12:00	教育委員会(内線21)
24日(水)	乳児相談(6～8カ月)	保健センター	9:00～12:00	保健福祉課(内線53)
31日(水)	村民税4期 納期限			税務会計課(内線32)
	国民健康保険税8期 納期限			税務会計課(内線31)
	介護保険料8期 後期高齢者医療保険料7期 納期限			生活環境課(内線21)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

広報クイズ

問題の答えをはがきに書いて、役場政策推進課に1月22日までにお送りください。正解者の中から抽選で1名様にプレゼントが当たります。

Q 2018年は戌年。17年12月18日現在、村内の戌年生まれは何人?

- A) 274人
- B) 264人
- C) 304人

■前号(12月号)の正解 Q1→B

■先月当選者(敬称略) 佐々木 柁音(甲地)

おめでた おくやみ

[平成29年11月届け出分] (一部敬称略)

- 健やかに ～誕生～
 - 小長根 美玲愛(みれあ)ちゃん 直・奈保子 机
 - 小松山 音乃楓(ののか)ちゃん 博史・昌子 机
 - 下田 絵恋(えれん)ちゃん 康・さやか 西和野
 - 熊谷 陽咲(ひなた)くん 諒・加緒理 羅 賀

- ♥末永く ～結婚～
 - 畠山 冬喜 沼袋 ♥ 沼袋
 - 佐々木里菜 普代村

- 安らかに ～お悔やみ～
 - 畠山 幸太郎(92) 七 滝
 - 三浦 悦男(77) 島 越
 - 幕内 伸也(61) 菅 窪

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口に申し出てください

編集まぼれ話

新年あけましておめでとうございます。昨年もお取材へのご協力ありがとうございました。今年もよろしくお願いたします。▼今年(戌年)の抱負(45歳)に「健康」を何うたすか。2人の元気な姿があり、笑顔をレクリエーションを楽しみ、佐藤善正さんと奥地正太郎さん、好きな食べ物を食べて健康に過ごしたいです。(佐々木 柁音)

はまなす号 掲示板

はまなす号巡回カレンダー

◆はまぎくコース(羅賀・机・田野畑方面)

月日	場所	時間
1月23日(火)	平井賀郵便局	9:35～9:50
	グループホームつくえ付近	10:10～10:25
	田野畑郵便局	10:45～11:00

◆おきなくさコース(沼袋方面)

月日	場所	時間
1月24日(水)	産直プラザ尾肝要	9:50～10:05
	リアス倶楽部付近	10:10～10:25
	沼袋郵便局	10:30～10:45

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

★仕事は？

北山崎の白花シャクナゲ荘を家族で営んでいます。

★仕事のやりがいは？

お客様の喜んだ表情を見たときに、やりがいを感ずいます。

★休日は何をしていますか？

趣味のベースを弾いたり、映画を見たりしています。

★今頑張っていることは？

インターネットやSNSを使って北山崎とお店の宣伝を頑張っています。北山崎は世界に誇れる観光地だと言ってもらえるように頑張ります。

★最後に一言お願いします！

白花シャクナゲ荘のおすすめは、元祖磯釜めし。皆さんぜひ食べに来てください。



泡淵^{かすや}和也さん(34)=北山=



わが家の アイドル



ともより
中村知頼くん(1歳11カ月)
政治さん・秋子さん=明戸=

お母さんからのひとこと

いないいないばあっ！と機関車トーマスのテレビが大好き。食べ物はリンゴが大好きです。好奇心旺盛で元気いっぱい。明るく周囲から頼られるような男の子になってね。



村長石原弘の
村長コラム

40

○助け合い、支え合いの村に

12月3日、田野畑村歳末たすけあい演芸会が開催されました。この日は、25の演目に餅まきが加わるなど豊かな構成で、会場は歓声と笑いで和やかな雰囲気にも包まれていました。

オープニングに登場した、たのはた児童館と若桐保育園の園児は、大人顔負けの踊りを披露し、とても驚かされました。机あすなろ会は、おとぎ話の桃太郎を田野畑弁で朗読し、会場を沸かせていました。

演劇や踊り、歌などの多種多様な演目が披露された演芸会は、終了時間が延長になるほどの大盛況でした。

今年で48回を数える歳末恒例の演芸会は、昭和44年から始まったものです。

地域の方々が「支え合いの精神や郷土愛などの思いを込めた手作りの舞台で、地域を盛り上げていこう」という考えで回数を重ねていることが、今年の会場にも溢れていました。

皆さんも、助け合い、支え合いの心を大切にしていきましょう。半世紀の歴史の中に、村の心が詰まっています。